

音 樂
(一 般)

音楽の目標について
<p>【教科の目標】</p> <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】</p> <p>[第1学年]</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p> <p>[第2学年及び第3学年]</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>

【参考】

○ 目標の改善

音楽科で育成を目指す資質・能力を「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」と規定し、「(1) 知識及び技能」、「(2) 思考力、判断力、表現力等」、「(3) 学びに向かう力、人間性等」について示した。また、資質・能力の育成に当たっては、生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせて学習活動に取り組めるようにする必要があることを示した。このことによって、生徒が教科としての音楽を学ぶ意味を一層明確にした。

○ 標準授業時数

第1学年－45単位時間 第2学年－35単位時間 第3学年－35単位時間

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		17・教出	第 1 学年 第 2・3 学年(上) 第 2・3 学年(下)	音楽・701 音楽・801 音楽・802	中 学 音 楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 下 音楽のおくりもの
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容、内容の構成・排列	<p>○ 歌唱については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 斉唱から混声三部合唱までについて、曲想と形式とのかかわりを理解したり、主旋律を担当するパートを確かめ、他の声部を聴きながら歌うために必要な技能を身に付けたりして、歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>第 2・3 学年～ 斉唱から混声四部合唱までについて、曲想と曲全体の構成とのかかわりを理解したり、他の声部や伴奏と合わせて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>○ 創作については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 言葉のリズムやまとまりを理解したり、全体の構成を考えながら音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する。</p> <p>第 2・3 学年～ 音符のつなげ方によるリズムの違いを理解したり、選んだ言葉や音階の特徴を生かして表現するために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、音階や曲の構成等を理解して、複数の音楽の特徴や関連について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>第 2・3 学年～ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、リズムや旋律の反復による曲全体の構成等を理解して、音楽の役割や特徴を踏まえた共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1 学年～ 活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、音楽のまとまりを生かして合わせて歌ったり、声の音色や出し方などの特徴を聴いたりする活動</p> <p>第 2・3 学年～ 活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲想を感じ取り、形式を生かして歌ったり、音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴いたりする活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1 学年～ 「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第 2・3 学年～ 「CMソングをつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉や音階の特徴を生かして旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p>			

	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 郷土の様々な民謡の学習の後に、日本とアジアの声による表現の特徴を聴き取ったり、日本と世界の歌唱における声の出し方を比較したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 歌舞伎を鑑賞する学習の後に、歌舞伎と文楽を比較したり、オペラと歌舞伎の音楽の役割や特徴における共通点や相違点について考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
使用上の配慮等	<p>○ 「Let's Sing!」で表現するための技能を提示したり、作者の思いに触れるようにして、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「比べてみよう」で学習した教材を比較して表現する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		27・教芸	第 1 学年 第 2・3 学年(上) 第 2・3 学年(下)	音楽・702 音楽・803 音楽・804	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3 上 中学生の音楽 2・3 下
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容、内容の構成・排列	<p>○ 歌唱については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 斉唱から混声三部合唱までについて、旋律の特徴や強弱の変化を理解したり、互いの声や伴奏をよく聴いて歌うために必要な技能を身に付けたりして、歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>第 2・3 学年～ 斉唱から混声四部合唱までについて、曲想と歌詞の結び付きを理解したり、全体のまとまりに気を付けて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>○ 創作については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 音のつながり方の特徴を理解したり、音素材の特徴を生かしながら構成を工夫して音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する。</p> <p>第 2・3 学年～ 言葉の抑揚を生かすことを理解したり、音階を使って和音の動きに合わせて音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化等を理解して、各地に伝わる音楽の特徴について自分なりに考え、音楽等のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>第 2・3 学年～ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、声や楽器の音色、旋律の特徴等を理解して、世界各地の楽器と似た特徴をもつ日本の楽器の音楽などを聴き比べて共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1 学年～ 活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲の構成を感じ取り表現を工夫して歌ったり、曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴いたりする活動</p> <p>第 2・3 学年～ 活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲想の変化を生かして表情豊かに歌ったり、作曲者の思いを感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりする活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1 学年～ 「My Melody」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第 2・3 学年～ 「Let's Create!」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、リズムの重なりや音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p>			

	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 日本の民謡を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして民謡を歌ったり、郷土に伝わる民謡を調べたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 文楽を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして義太夫節を語ったり、郷土の祭りや芸能について考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
使用上の配慮等	<p>○ 「My Voice」で歌唱表現のための技能を提示したり、演奏者からのアドバイスを紹介して学習を深めることができるようにしたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「曲のよさをプレゼンしよう」でみんなに薦めたい曲のよさを音楽と関連付けてプレゼンテーションする活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

＜音楽（一般）の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 表現（歌唱、創作）及び鑑賞にかかわるページ数及び総ページ数② 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数③ 我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を扱う箇所数 |
|---|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、表現（歌唱、創作）及び鑑賞にかかわる全体としての分量について把握する必要があるため。② 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導することが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。③ 表現（歌唱等）の指導において、生徒が我が国や郷土の音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫することが求められていることから、我が国の伝統的な歌唱及び和楽器の取扱いについて把握する必要があるため。 |
|--|

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者		教出			教芸		
						1	2・3上	2・3下	1	2・3上	2・3下
①	表現（歌唱、創作） 及び鑑賞にかかわ るページ数及び総	表現（歌唱）	ページ数	44	36	34	53	51	46		
			全体に占める割合	52%	43%	40%	54%	52%	47%		
		表現（創作）	ページ数	6	4	4	7	6	4		
			全体に占める割合	7%	5%	5%	7%	6%	4%		
		鑑賞	ページ数	26	31	29	24	28	34		
			全体に占める割合	31%	37%	35%	24%	28%	34%		
		その他	ページ数	8	13	17	15	14	15		
			全体に占める割合	10%	15%	20%	15%	14%	15%		
		総ページ数			84	84	84	99	99	99	
		前回の総ページ数			84	84	84	80	80	80	
		増減			0%	0%	0%	24%	24%	24%	
②	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数			5	3	2	4	2	0		
③	我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を扱う箇所数			6	10	4	4	4	4		

※ 「総ページ数」は、教科書に記載されている最終ページ数とする。

様式 5

様式 4 の調査項目②「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者	学年	題材名	内容	該当ページ
教 出	1	曲の形式を生かして歌おう	北海道函館近辺のトラピスト修道院	P16
		民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう	ソーラン節	P28
			江差追分	P29
			ソーラン節 江差追分	P31
		わが国やアジア地域の、多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう	日本の民謡「江差追分」	P54
	2・3 上	オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう	パイプオルガン 札幌コンサートホールKitara大ホール	P39
		曲の形式を生かして歌おう	札幌市時計台	P55
		「歌のアルバム（資料）」	大雪クリスタルホール(北海道旭川市)	P75
	2・3 下	CMソングをつくろう	北海道	P24
			北海道	P25
教 芸	1	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	ソーラン節	P60
			ニシン漁の様子（北海道古平郡）	P61
			江差追分	P62
			ソーラン節	
			民謡音階ソーラン節（北海道）	P63
	2・3 上	日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	アイヌの芸能	P68
			アイヌ古式舞踊	
			アイヌ古式舞踊	P69

※ 「取扱い方」については、編修趣意書に曲や音楽、教材などの違いが示されていないことから、記載しないこととする。